



挑む、つながる。

生徒のみなさんへ

● 着任式・始業式を振り返って

新年度が始まり、あっという間に4月が過ぎようとしています。8日の着任式・始業式で、進級したみなさんの表情に出会ってから、すでに数週間が経ちました。この間、みなさんが新しい教室や学級の雰囲気になんげ慣れ、前向きに学校生活を積み重ねている姿を、日々うれしく見えています。

新しい環境に慣れるには時間がかかるものです。思うようにいかない日があったとしても、それはみなさんが真剣に向き合っている証です。大切なのは、そこで立ち止まらず、小さくても自分の一歩を踏み出してみることです。

今年度、枝光台中学校が大切にしている合言葉は「挑む、つながる。」です。「挑む」とは、特別な挑戦だけを指すではありません。昨日より少し丁寧に取り組むこと、苦手なことに向き合ってみること、うまくいなくてももう一度やってみること。そうした小さな挑戦の積み重ねが、みなさんの成長につながっていきます。そして、その挑戦を支えるのが「つながる」です。友だちの頑張りを認めること、困っている人に気付くこと、自分の気持ちを言葉にして伝えること…その一つひとつが、安心して挑戦できる学校をつくれます。

始業式で見た2・3年生の頼もしさは、この1年が実りあるものになる予感を与えてくれました!!



♪ 桜のアーチがお出迎え ♪

● 入学式を振り返って ようこそ、枝光台中学校へ



4月10日に第26回入学式が行われました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。枝光台中学校の職員、在校生一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。今年度の新1年生は48名、全員が仲良く、お互いを認め合い、支え合って学校生活を送って欲しいと思います。全校生徒と全職員の力を合わせて、より良い枝光台中学校を創り上げていきましょう。

この数週間、1年生にとっては初めてのことはばかりだったと思います。戸惑う場面もあったはずですが、雨の中で勇気を出して式に臨んだあの日の姿を思い出せば、これからも一歩ずつ前に進んでいけるはずです。

そして、2・3年生のみなさんには、これからも「つながり」をつくる存在としての力を期待しています。困っている1年生に声をかけること、学校生活のコツを伝えること…その一つひとつが枝光台中学校の雰囲気をつくれます。これからの1年生の挑戦と、それを支える上級生とのつながり。この積み重ねが、これからの1年を豊かにしていきます。

保護者の皆様へ

保護者の皆さまには、日頃より本校の教育に温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

この4月より校長として着任いたしました鋪田直子です。お子様の健康、安全・安心を第一と考え、教育に全力で当たって参ります。ご家庭、地域、学校がお互いに信頼し合うことが、お子様を健全に育成し、進路を保障していくことにつながると 생각합니다。ご心配なことがございましたらご相談ください。ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。